小学校から大学までを見通した「文章力」育成指導

―「文章構成・段落・キーワード」―

東京農業大学第三高等学校附属中学校　西山明人

1　文章力とは？

2　文章力の育成指導法
（説明・実習・作品例）

3　各段階における「書くこと」の学習
（小学校～大学・社会）

１　文章力とは？

（１）文章とは？

（２）文章力とは？

２　文章力の育成指導法
（説明・実習・作品例）

（１）文章力を育成する授業実践

（２）実習と作品例

３　各段階における「書くこと」の学習
（小学校～大学・社会）

（１）小学校から大学・社会へ続く学び

（２）いつごろ何を身につけるのか？

参考文献

市毛勝雄（2010）
『ＤＶＤ付　授業マニュアル　小論文の書き方指導
　４時間の授業で「導入」から「評価」まで』
明治図書

長谷川祥子（2021）
『論理的思考力を育てる！　書く力・考える力
　アップワーク』明治図書

1　文章力とは？

（1）文章とは？

①「論理的文章」のこと
ー文学的文章

②「書くこと」ー話す･聞く･読む

①「論理的文章」は４種類

ア　記録

イ　報告

ウ　論説

エ　説明

ア　記録

例　アサガオの観察記録

ことがらを
時間通りに書いた文章。

イ　報告

例　リポート、自然科学の論文

新しいことがらの発見を
詳しく書いた文章。

ウ　論説

例　経済学･教育学･社会学の論文、
新聞社説、月刊雑誌の論文

記録･報告をもとに
さいごに主張を述べた文章。

エ　説明

例　ゲーム機・スマホの取扱説明書

新しいもの等の性質・性能を
わかりやすく書いた文章。

1　文章力とは？

（2）文章力とは？

①　報告･論説など
論理的な文章を
書くことができる力

1　文章力とは？

（2）文章力とは？

② 文章力としてはたらく

組み立てる力
（思考力）

詳しく説明する力
（表現力）

1　文章力とは？

（３）ことばの技術

Ａ　組み立てる（思考）

Ｂ　詳しく説明する（表現）

※言語技術　Language Arts

参考文献

木下是雄（1981）
『理科系の作文技術』中公新書

田嶋幸三（2007）
『「言語技術」が日本のサッカーを変える』
　光文社新書

文章力育成を目標とする学習の教材は？

「小論文」

：２つの事実と

共通する感想とで構成した

科学論文の基礎形式をそなえた教材

２　文章力の育成指導法（授業実践）

（１）説明（基礎的な知識）

（２）実習

（３）作品例・評価（の授業）

２　文章力の育成指導法（授業実践）

（１）説明（基礎的な知識）

①　文章構成

②　段落

③　キーワード

① 文章構成

役割をもつ　段落どうしの　組み立て

② 段落

一つの内容を書いている　文章のまとまり

③ キーワード

文章の内容を思い出すための　主要語句

①　文章構成

はじめ……あらまし

な　か……具体的事例

まとめ……共通の感想

むすび……主張

1　形式（400字小論文の例）

文章構成	段落の役割	文字数
はじめ	全体のあらましを書く。	2行（40字）以内
なか1	一つの具体例を詳しく書く。感想・意見は書かない。	7行（140字）以内
なか2	「なか1」とは別の具体例を一つ書く。感想・意見は書かない。	7行（140字）以内
まとめ	「なか1」と「なか2」とに共通する感想・意見を書く。	2行（40字）以内
むすび	「まとめ」の感想・意見が全ての人にあてはまるという主張を書く。	2行（40字）以内（論説・高校から）

文章例

題　名　・・・・　楽しかったお祭り

はじめ　第①段落　お祭りに行った。

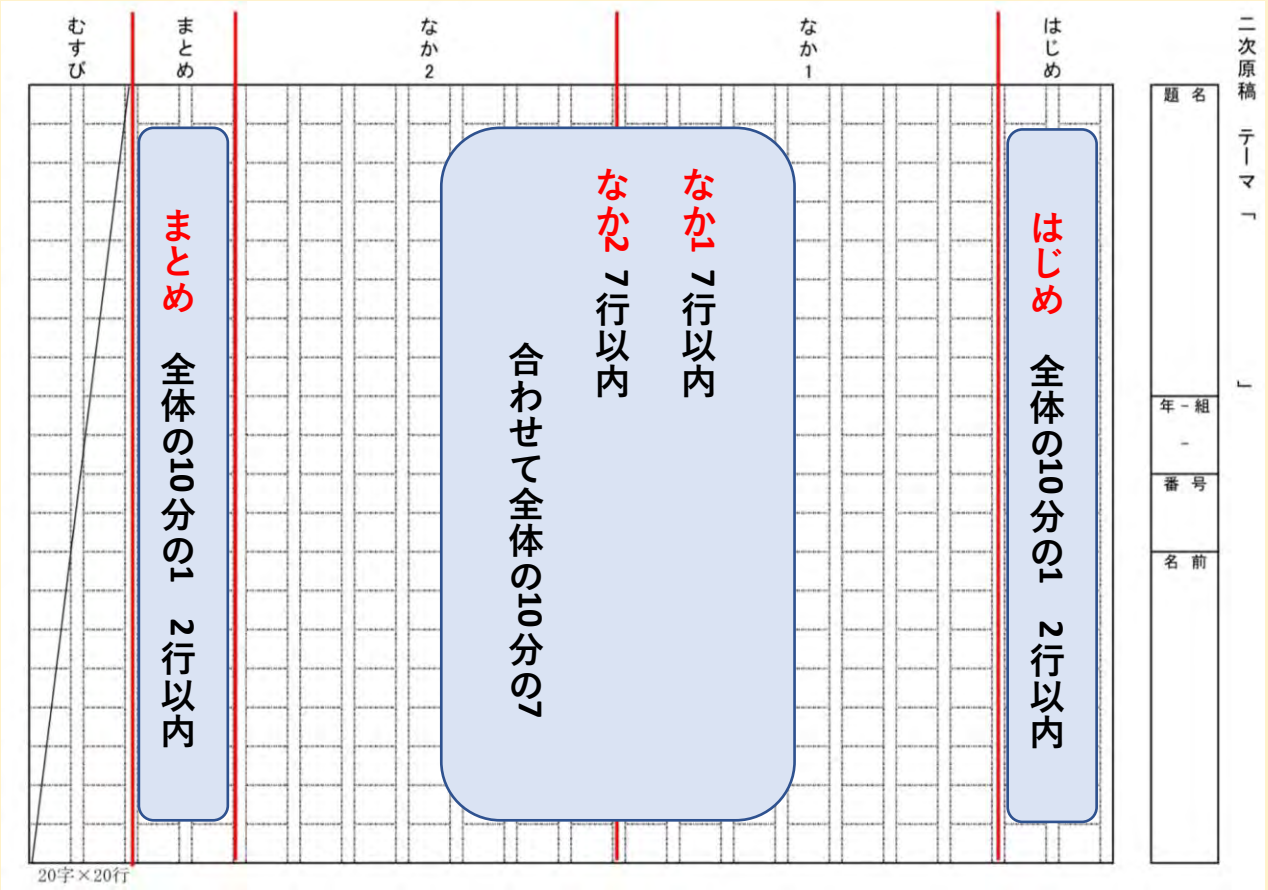
なか1　第②段落　おめんを買った。

なか2　第③段落　焼きそばを食べた。

まとめ　第④段落　お祭りは楽しかった。

1 論理的文章は**形式**を守って書く。

2 **原稿用紙を赤線で区切って**各段落を書く。



② 段落

一つの内容を書いている　文章のまとまり

③ キーワード

文章の内容を思い出すための　主要語句

一段落一事項の原則

：一つの段落には、一つのことがらを書くという原則

答え

課題1　楽しかった手伝い

はじめ　①　手伝いをした。　（手伝い）

なか1　②　テーブルをふいた。　（テーブル）

なか2　③　箸を置いた。　（箸　）

まとめ　④　手伝いは楽しかった。　（楽しかった）

課題2　楽しかった昔遊び

はじめ　①　昔遊びをした。　（昔遊び）

なか1　②　お手玉をした。　（お手玉　）

なか2　③　けん玉をした。　（けん玉　）

まとめ　④　昔遊びは楽しかった。　（楽しかった）

課題3　大変だった昔の暮らし

はじめ　①　社会科で、昔の道具を使う体験をした。　（昔の道具　）

なか1　②　洗濯板で、くつ下を洗った。二十回こすっても、白くならなかった。　（洗濯板　）

なか2　③　七輪で、おもちを焼いた。用意してから、食べるまでに三十分かかった。　（七輪　）

まとめ　④　どちらも、時間も手間もかかって、大変だった。　（大変だった）

① 文章構成

役割をもつ　段落どうしの　組み立て

② 段落

一つの内容を書いている　文章のまとまり

③ キーワード

文章の内容を思い出すための　主要語句

２　文章力の育成指導法（授業実践）

（１）説明

④　書き方プリント

1 形式
2 種類
3 文章例

1 小論文の書き方

1 論理的文章の形式（400字小論文の例）

文章構成	段落の役割	文字数
はじめ	全体のあらましを書く。	2行（40字）以内
なか1	一つの具体例を詳しく書く。感想・意見は書かない。	7行（140字）以内
なか2	「なか1」とは別の具体例を一つ書く。感想・意見は書かない。	7行（140字）以内
まとめ	「なか1」と「なか2」とに共通する感想・意見を書く。	2行（40字）以内

2 論理的文章の種類

（1）記録　ことがらを時間通りに書いた文章。「なか1・なか2・なか3…」。（日記・観察記録・実験記録）

（2）報告　新しいことがらの発見を詳しく書いた文章。発見したことを発表すること。自然科学の論文はすべてこの報告である。報告の文章は決められた形式「はじめ・なか1・なか2…・まとめ」で書かれる。（「なか」は文章・写真・統計等）。（リポート。自然科学専門誌はリポートで形成されている。現象・事実新発見の報告は、多数の追試による確認を受けて「事実」として認定される。）

（3）論説　多くの記録・報告をもとにして、さいごに「主張」（むすび）を述べた文章。（経済学・教育学・社会学等の論文、新聞社説・月刊雑誌（文藝春秋・中央公論等）の論文など。（高校生から書く学習がある。）

（4）説明　新しいこと・もの、珍しいこと・ものの性質・性能などをわかりやすく書いた文章。ゲーム機・ケータイの一取り扱い説明書など。また、わかりやすく説して説明すること。（口頭発表、プレゼンテーションなどとも言う。）

3 文章例と文章構成表

（1）文章例

テーマ　なつやすみ

題名　楽しいおまつり（「題名」は「テーマ」と区別する）

小論文

題　名　楽しいおまつり

はじめ　おまつりに行った。　第①段落

なか1　おめんを買った。　第②段落

なか2　やきそばを食べた。　第③段落

まとめ　おまつりは楽しかった。　第④段落

（2）文章構成表

段落	文章構成	キーワード
①	はじめ	おまつり
②	なか1	
③	なか2	
④	まとめ	

4 小論文を書く時の注意（評価基準）

（1）「です・ます」を使わず、「である」を使う。
（「楽しかったです。」のように幼稚な文になるから。）

（2）慣用句を使わない。（文章の個性がなくなるから。）
×テストは楽勝だった。
○テストはやさしかった。

（3）「……ない。」という否定表現は内容をあいまいにするので、肯定表現で書く。
×賛成ではない。
○反対だ。

（4）「……して、そして、それから」を使いすぎない。
（中心がわかりにくい文章になるから。）
×朝起きて、そして、ご飯を食べて、かばんを持って…

（5）「、」（テン）は意味の切れ目に一文に一か所だけ、うつ。
×うん、この場所で食事にしよう。
○うん、この場所で食事にしよう。

（6）名詞で文を切る書き方（体言止め）は、小論文では使わない。（体言止めは詩の書き方で、文章の意味が曖昧になるから。）
×私の好きな花、バラ。
○私はバラの花が好きだ。

（7）「はじめ」には感想・意見は書かない。（感想・意見は「まとめ」に書くから。）
×四月十日に行った山中公園はとても楽しかった。
○四月十日に山中公園に行った。

（8）「なか1・なか2」を書く主な技術は次の通りである。
①地名・人名・交通機関名・月日・時刻・品名・値段・個数など、名前や数字を使って文章を書く。
×ある日の午後、町で友人に会った。
○十日、午後三時ごろ、山川書店で吉野さんに会った。
②会話の文は、小論文では改行しないで続けて書く。
母が「今日は遅くなるわ」と言った。私は「夕食のしたくをしておくよ」と答えた。
③場面の中心を決めて、中心を詳しく書く。
×朝起きて、顔を洗って、ご飯を食べて…
○朝六時に食事のしたくを始める。四枚のお皿にパンを…
④「なか1」と「なか2」とが同じ内容で、時間だけ離れている例は、一つの例と判定される。内容の違う二つの例が必要である。
⑤「なか」は、ことがらだけを書き、感想・意見を書かない。
×おかずの準備はとてもめんどうだ。なぜかというと…
○おかずの準備は、味噌汁の実を洗うことから始める…
⑥小論文に友人の名が出るときは、仮名を使う。
＊女子……青山さん、上田さん、太田さん、など。（ア行）
＊男子……山川君、湯川君、吉田君、など（ヤ行）

（9）「まとめ」の観点にぴったりな具体例を、いくつかの「なか」（具体例）から選び直すと、一貫性のある文章になる。

（10）小論文を書く順序としては、「なか2」→「なか1」→「まとめ」→「はじめ」→「題名」の順に書くと書きやすい。

（11）「題名」は「テーマ」と区別し、小論文を全部書いてから決める。「まとめ」のキーワードから選ぶと、よい題名になる。

参考文献
市毛勝雄『小論文の書き方指導 4時間の授業で「導入」から「評価」まで』明治図書 2010年

4
小論文を書く時の注意（評価基準）
↓小論文を書く技術をのせてある。

２　文章力の育成指導法（授業実践）

（１）説明

④　書き方プリント

文体

4　小論文を書く時の注意（評価基準）

（1）「です･ます」を使わず、「である」を使う。

２　文章力の育成指導法（授業実践）

（１）説明

④　書き方プリント

具体例を詳しく

４　小論文を書く時の注意（評価基準）

（8）「なか」を書く主な技術は……。
　①地名・人名……値段・個数など、
　　名前や数字を使って文章を書く。

２　文章力の育成指導法（授業実践）

（１）説明

④　書き方プリント

文章構成

4　小論文を書く時の注意（評価基準）

(9)　「まとめ」の観点にぴったりな具体例を
「なか」から選び直すと、
一貫性のある文章になる。

２　文章力の育成指導法（授業実践）

（１）説明

④　書き方プリント

書く順序

4　小論文を書く時の注意（評価基準）

（10）小論文を書く順序としては、
「なか2」→「なか1」→「まとめ」→「はじめ」
……の順に書くと 書きやすい。

２　文章力の育成指導法（授業実践）

（１）説明

（２）実習（学習項目）

（３）作品例・評価（の授業）

２　文章力の育成指導法（授業実践）

（2）実習（学習項目）

①　テーマ
②　キーワード表
③　まとめの表
④　一次原稿
⑤　二次原稿
⑥　評価

２　文章力の育成指導法（授業実践）

（2）実習　①テーマを知る

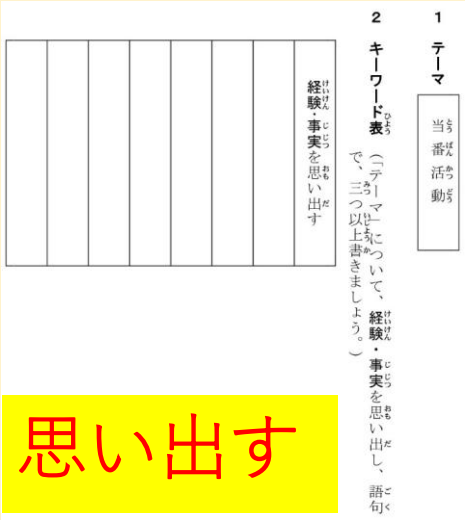
テーマ（年間計画）は学校生活･学校行事

回	テーマ	時期
第１回	手伝い	４月
第２回	体育祭	６月
第３回	文化祭	９月
第４回	当番活動	１１月
第５回	一年間の思い出	２月

２　文章力の育成指導法（授業実践）

（2）実習（②思いだす、③組み立てる）

② キーワード表


1 テーマ

当番活動

2 キーワード表（「テーマ」について、経験・事実を思い出し、語句で、三つ以上書きましょう。）

経験・事実を思い出す

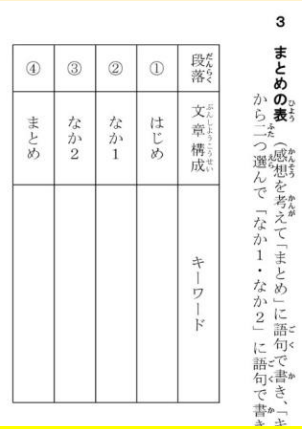
思い出す

1. テーマについて、経験したことを**思い出す**。
2. 思い出した経験・事実を、**語句で**キーワード表に書く。
3. ３つ以上書ければよい。

２　文章力の育成指導法（授業実践）

（2）実習（②思いだす、③組み立てる）

③ まとめの表



3 まとめの表（感想を考えて「まとめ」に語句で書き、「なか1・なか2」から二つ選んで「なか1・なか2」に語句で書き

段落	文章構成	キーワード
①	はじめ	
②	なか1	
③	なか2	
④	まとめ	

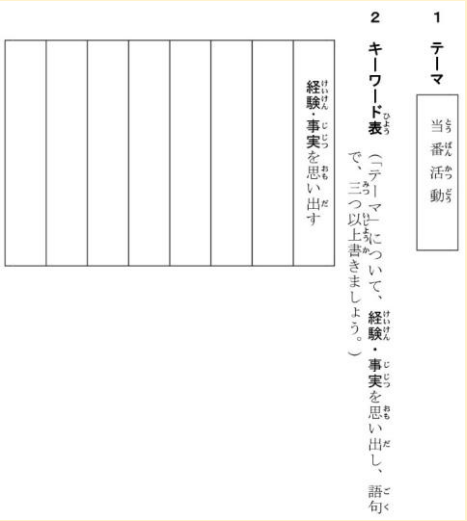
組み立てる

1. 感想を考えて「まとめ」に書く。
2. 感想と合う経験・事実をキーワード表から２つさがして「なか１」と「なか２」に書く。
3. 黒板に書く。【板書添削】

２　文章力の育成指導法（授業実践）

（2）実習（②思いだす、③組み立てる）

②　キーワード表



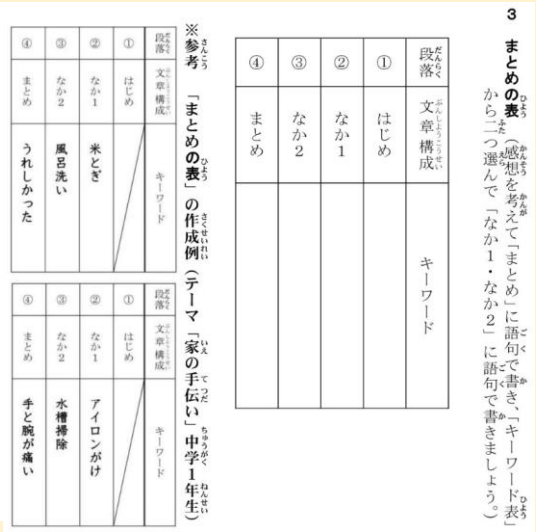
1　テーマ

当番活動

2　キーワード表（「テーマ」について、経験・事実を思い出し、語句で、三つ以上書きましょう。）

経験・事実を思い出す

③　まとめの表



3　まとめの表（感想を考えて「まとめ」に語句で書き、「キーワード表」から二つ選んで「なか1・なか2」に語句で書きましょう。）

段落	文章構成	キーワード
①	はじめ	
②	なか1	
③	なか2	
④	まとめ	

※参考　「まとめの表」の作成例（テーマ「家の手伝い」中学1年生）

段落	文章構成	キーワード
①	はじめ	
②	なか1	米とぎ
③	なか2	風呂洗い
④	まとめ	うれしかった

段落	文章構成	キーワード
①	はじめ	
②	なか1	アイロンがけ
③	なか2	水槽掃除
④	まとめ	手と腕が痛い

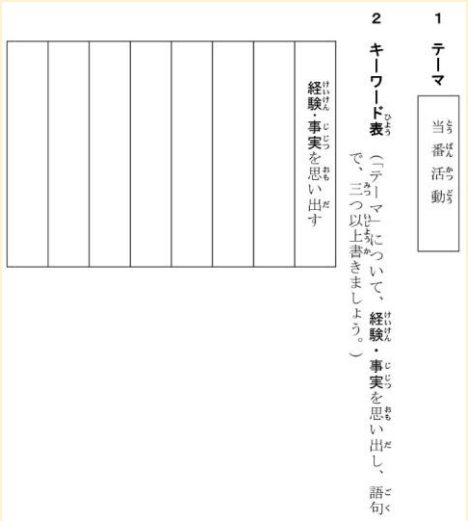
2　文章力の育成指導法（授業実践）

（2）実習（②思いだす、③組み立てる）

② キーワード表

一貫性がある？

③ まとめの表

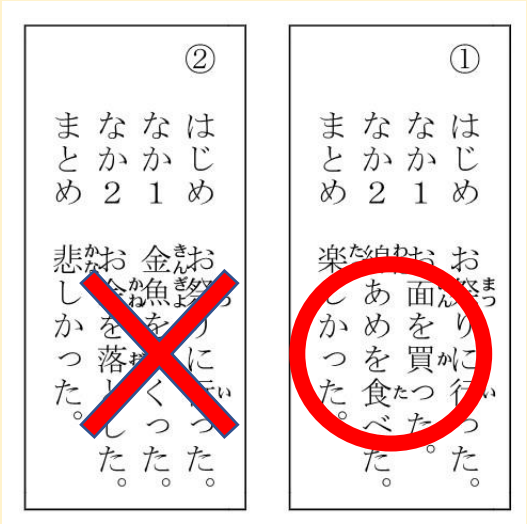


1 テーマ

当番活動

2 キーワード表（テーマについて、経験・事実を思い出し、語句で、三つ以上書きましょう。）

経験・事実を思い出す



①

はじめ

なか1

なか2

まとめ

お祭りに行った。

お面を買った。

あめを食べた。

楽しかった。

②

はじめ

なか1

なか2

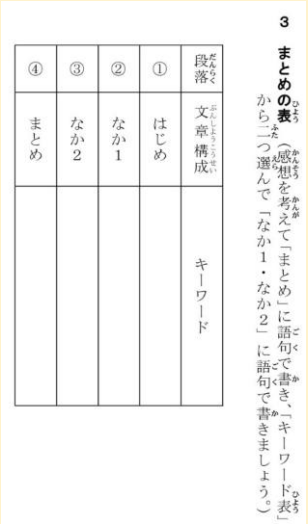
まとめ

お祭りに行った。

金魚をくった。

お金を落とした。

悲しかった。



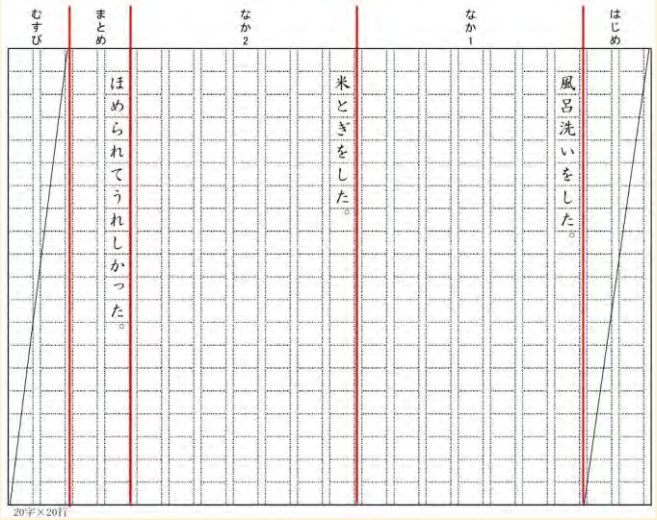
3 まとめの表（感想を考えて「まとめ」に語句で書き、「キーワード表」から一つ選んで「なか1・なか2」に語句で書きましょう。）

段落	文章構成	キーワード
①	はじめ	
②	なか1	
③	なか2	
④	まとめ	

2　文章力の育成指導法（授業実践）

（2）実習　書く ④一次原稿　⑤二次原稿

④一次原稿



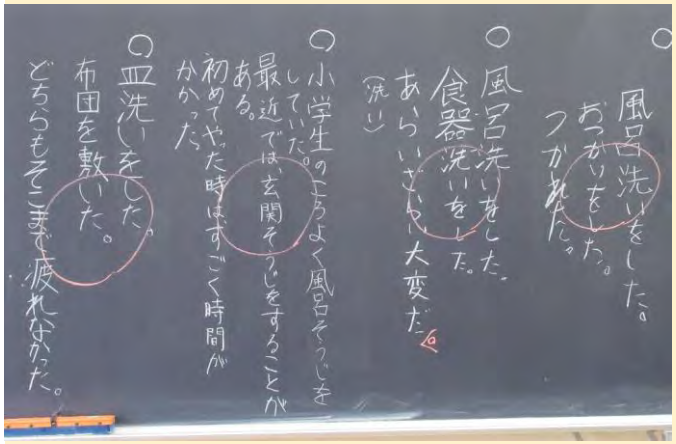
書く（一貫性の確認）

1. 「まとめの表」に語句で書いたものを、原稿用紙に１行の文で書く。
2. 書いたら〇をもらう。
3. 黒板に書く。【板書添削】

2　文章力の育成指導法（授業実践）

【板書添削】　③まとめの表　④一次原稿　⑤二次原稿

④一次原稿での例



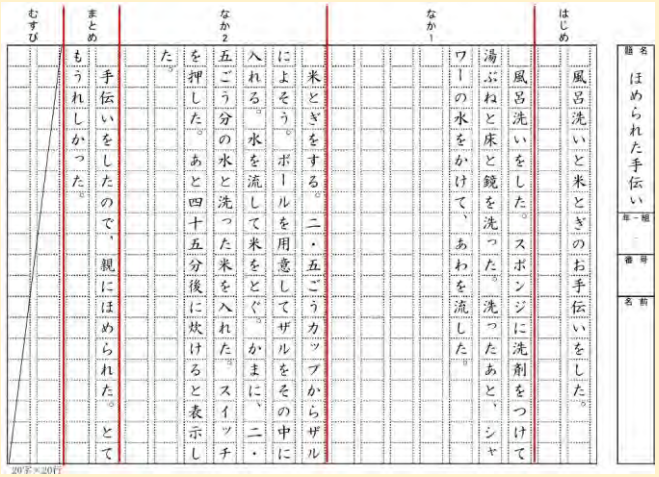
書き方の例示・評価

1. ○をもらったら黒板に書く。
2. 書いたら指導者が音読して○をつける。
3. 書き方を知りたい者だけが聞いていればよい。
4. 誤字などは○をつけたあとそっと直す。

2　文章力の育成指導法（授業実践）

（2）実習　書く ④一次原稿　⑤二次原稿

⑤二次原稿



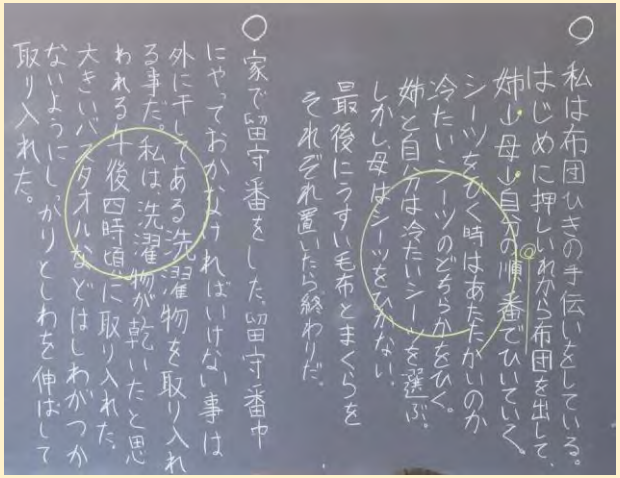
書く（詳しく書く）

1. 「一次原稿」に１行の文で書いたものを、原稿用紙に**詳しく**書く。
2. 書くときは**「なか」→「まとめ」→「はじめ」の順番**で。
3. 黒板に書く。**【板書添削】**

2　文章力の育成指導法（授業実践）

【板書添削】　③まとめの表　④一次原稿　⑤二次原稿

⑤二次原稿での例



書き方の例示・評価

1. 黒板に出て書く。
2. 書いたら指導者が**音読**して**○をつける**。
3. **書き方を知りたい者**だけが聞いていればよい。
4. **誤字**などは○をつけたあと**そっと直す**。

授業計画（全４時間）

事項	時間	内容	備考
＊		①テーマを知る。	①テーマについて話し合う。
思い出す	１時間め	②キーワード表を書く。	②経験・事実を語句で書く。
組み立てる		③まとめの表を書く。	③文章を組み立てる。
一貫性確認	２時間め	④一次原稿を書く。	④１行の文で書く。
詳しく書く		⑤二次原稿を書く。	⑤「なか２」を詳しく書く。
詳しく書く	３時間め	⑥二次原稿を提出する。	⑥すべての段落を書く。
優れた文例	４時間め	⑦評価・返却をする。	⑦優れた文例を聞く。

２　文章力の育成指導法（授業実践）

（１）説明

（２）実習

（３）作品例・評価（の授業）

２　文章力の育成指導法（授業実践）

（3）評価・評価の授業・返却

評価基準は「4　小論文を書くときの注意」

①　段落ごとに、〇・◎で評価する。

②　「なか」に◎があれば、評価Ａ：優秀印

③　形式が守れていれば、評価Ｂ：合格印

④　誤字は指摘する。

２　文章力の育成指導法（授業実践）

（3）評価・評価の授業・返却

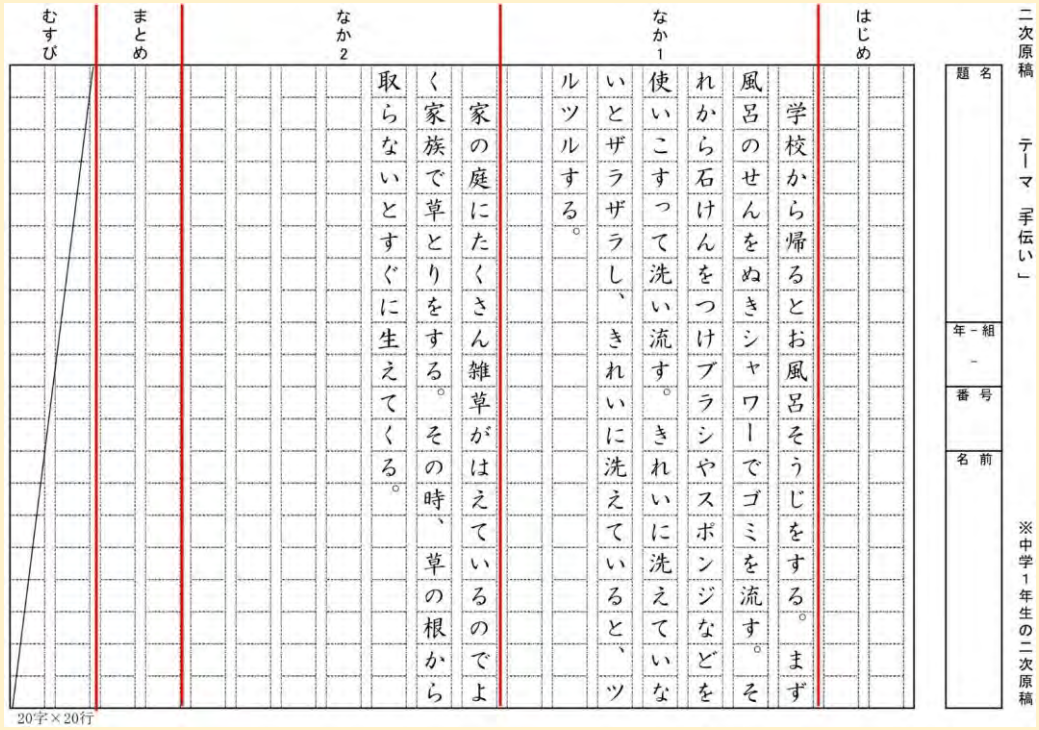
①　優れた文例を指導者が音読する。
（匿名で、段落ごとに、音読する。）

②　文章の評価を判断する。

③　感想を言う。

④　作品を返却してもらい、保管する。

（３）作品例（一年間の変遷　第1回）



二次原稿　テーマ「手伝い」

題名

年－組　－

番号

名前

※中学1年生の二次原稿

はじめ

学校から帰るとお風呂そうじをする。まず風呂のせんをぬきシャワーでゴミを流す。それから石けんをつけブラシやスポンジなどを使いこすって洗い流す。きれいに洗えていないとザラザラし、きれいに洗えていると、ツルツルする。

なか1

家の庭にたくさん雑草がはえているのでよく家族で草とりをする。その時、草の根から取らないとすぐに生えてくる。

なか2

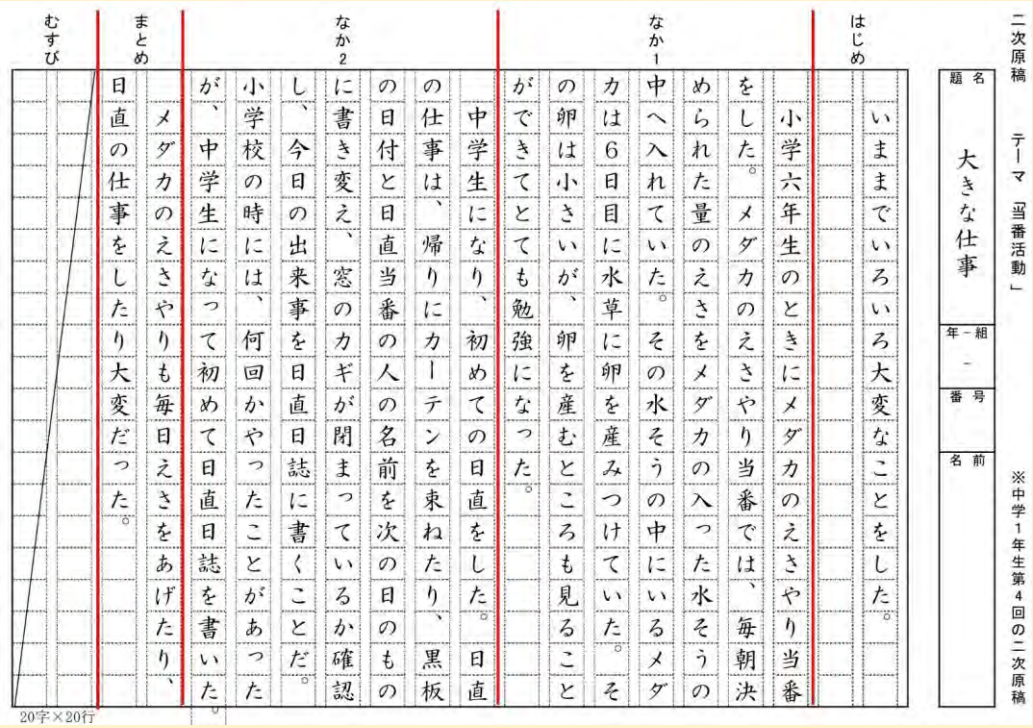
まとめ

むすび

20字×20行

1. 時間内に書き終わらなかった。
2. 評価はＣ。
3. 評価印

（３）作品例（一年間の変遷　第4回）



二次原稿　テーマ「当番活動」

題名　大きな仕事

年－組　－

番号

名前

※中学1年生第4回の二次原稿

はじめ

いままでいろいろ大変なことをした。

小学六年生のときにメダカのえさやり当番をした。メダカのえさやり当番では、毎朝決められた量のえさをメダカの入った水そうの中へ入れていた。その水そうの中にいるメダカは6日目に水草に卵を産みつけていた。その卵は小さいが、卵を産むところも見ることができてとても勉強になった。

なか1

中学生になり、初めての日直をした。日直の仕事は、帰りにカーテンを束ねたり、黒板の日付と日直当番の人の名前を次の日のものに書き変え、窓のカギが閉まっているか確認し、今日の出来事を日直日誌に書くことだ。小学校の時には、何回かやったことがあったが、中学生になって初めて日直日誌を書いた。

なか2

まとめ

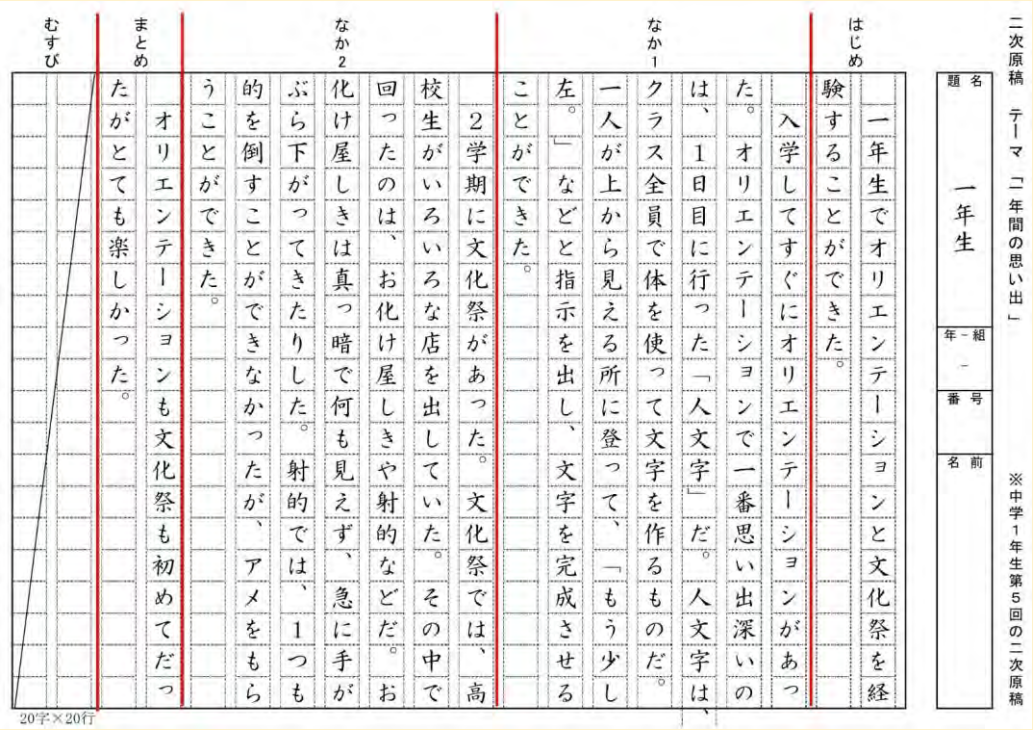
メダカのえさやりも毎日えさをあげたり、日直の仕事をしたり大変だった。

むすび

20字×20行

1. すべての段落を書き終え、形式を守って書いている。
2. 評価はＢ。
3. 評価印

（３）作品例（一年間の変遷　第5回）



二次原稿　テーマ「一年間の思い出」

※中学1年生第5回の二次原稿

題名　一年生

年－組　－

番号

名前

はじめ

一年生でオリエンテーションと文化祭を経験することができた。

入学してすぐにオリエンテーションがあった。オリエンテーションで一番思い出深いのは、1日目に行った「人文字」だ。人文字は、

なか1

クラス全員で体を使って文字を作るものだ。一人が上から見える所に登って、「もう少し左。」などと指示を出し、文字を完成させることができた。

2学期に文化祭があった。文化祭では、高校生がいろいろな店を出していた。その中で回ったのは、お化け屋しきや射的などだ。お

なか2

化け屋しきは真っ暗で何も見えず、急に手がぶら下がってきたりした。射的では、1つも的を倒すことができなかったが、アメをもらうことができた。

まとめ

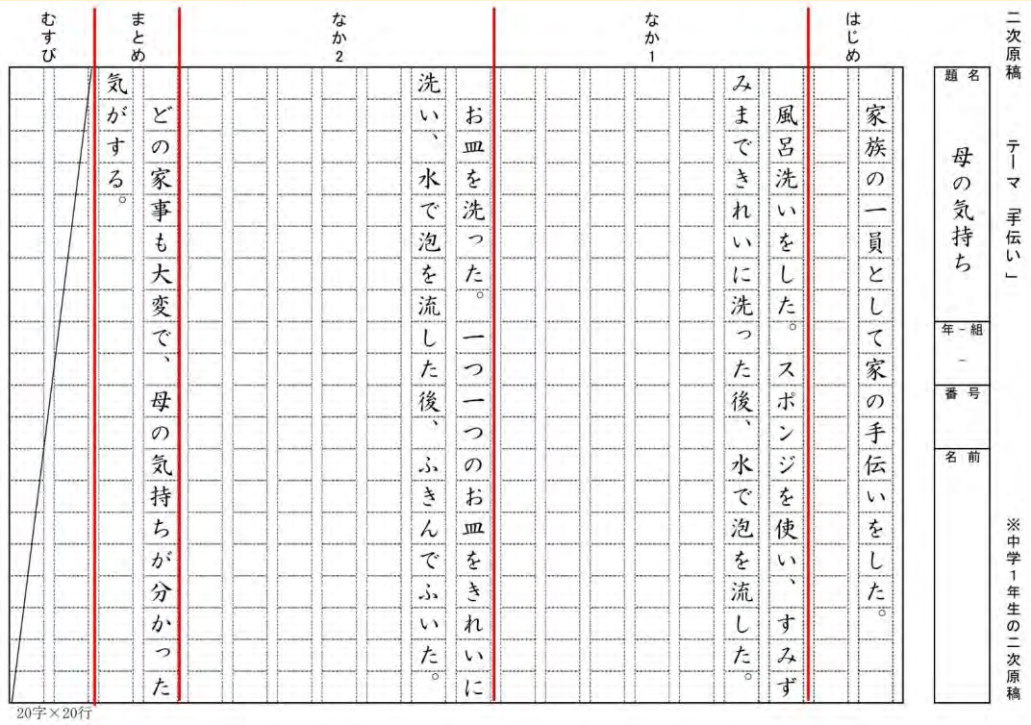
オリエンテーションも文化祭も初めてだったがとても楽しかった。

むすび

20字×20行

1. 形式を守っていて「なか」が詳しく書けている。
2. 評価はＡ。
3. 評価印

（３）作品例（3年間の変遷(1)「手伝い」）



二次原稿　テーマ「手伝い」

題名　母の気持ち

年－組　－

番号

名前

※中学1年生の二次原稿

はじめ

家族の一員として家の手伝いをした。

なか1

風呂洗いをした。スポンジを使い、すみずみまできれいに洗った後、水で泡を流した。

なか2

お皿を洗った。一つ一つのお皿をきれいに洗い、水で泡を流した後、ふきんでふいた。

まとめ

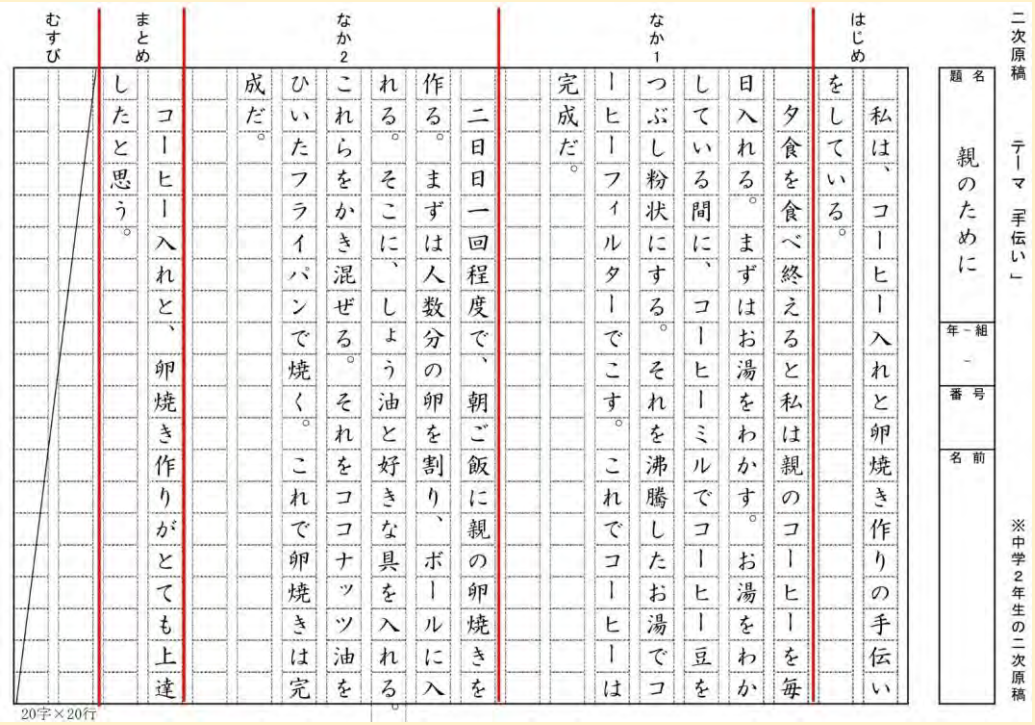
どの家事も大変で、母の気持ちが分かった気がする。

むすび

20字×20行

1. 1年生の4月の作品である。
2. 「なか」が2行書けている。
3. 形式を守って書いている。
4. 評価はB。

（３）作品例（3年間の変遷(2)「手伝い」）



二次原稿　テーマ「手伝い」

題名　親のために

年－組　－

番号

名前

※中学2年生の二次原稿

はじめ

私は、コーヒー入れと卵焼き作りの手伝いをしている。

なか1

夕食を食べ終えると私は親のコーヒーを毎日入れる。まずはお湯をわかす。お湯をわかしている間に、コーヒーミルでコーヒー豆をつぶし粉状にする。それを沸騰したお湯でコーヒーフィルターでこす。これでコーヒーは完成だ。

なか2

二日目一回程度で、朝ご飯に親の卵焼きを作る。まずは人数分の卵を割り、ボールに入れる。そこに、しょう油と好きな具を入れる。これらをかき混ぜる。それをココナッツ油をひいたフライパンで焼く。これで卵焼きは完成だ。

まとめ

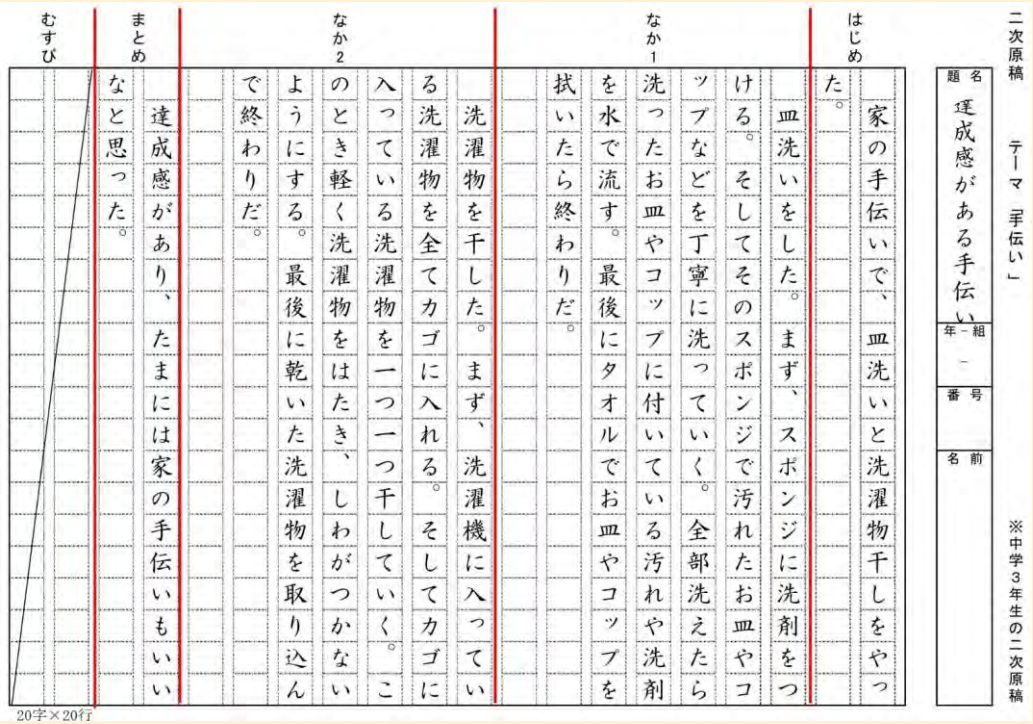
コーヒー入れと、卵焼き作りがとても上達したと思う。

むすび

20字×20行

1. 2年生の4月の作品である。
2. 形式を守って、「なか」を5行で書けている。
3. 評価はA。

（３）作品例（3年間の変遷(3)「手伝い」）



二次原稿　テーマ「手伝い」

題名　達成感がある手伝い

年－組　－

番号

名前

※中学３年生の二次原稿

はじめ

家の手伝いで、皿洗いと洗濯物干しをやった。

なか1

皿洗いをした。まず、スポンジに洗剤をつける。そしてそのスポンジで汚れたお皿やコップなどを丁寧に洗っていく。全部洗えたら洗ったお皿やコップに付いている汚れや洗剤を水で流す。最後にタオルでお皿やコップを拭いたら終わりだ。

なか2

洗濯物を干した。まず、洗濯機に入っている洗濯物を全てカゴに入れる。そしてカゴに入っている洗濯物を一つ一つ干していく。このとき軽く洗濯物をはたき、しわがつかないようにする。最後に乾いた洗濯物を取り込んで終わりだ。

まとめ

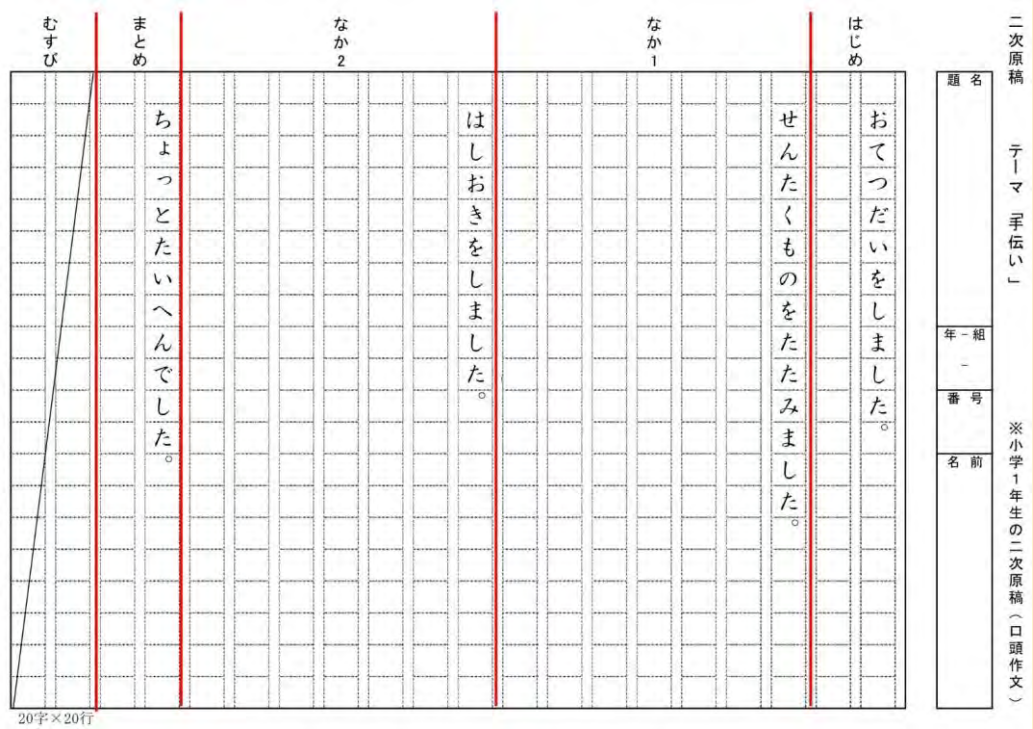
達成感があり、たまには家の手伝いもいいなと思った。

むすび

20字×20行

1. 3年生の4月の作品である。
2. 形式を守って、中心をきめて、「なか」を6行で詳しく書けている。
3. 評価はＡ。

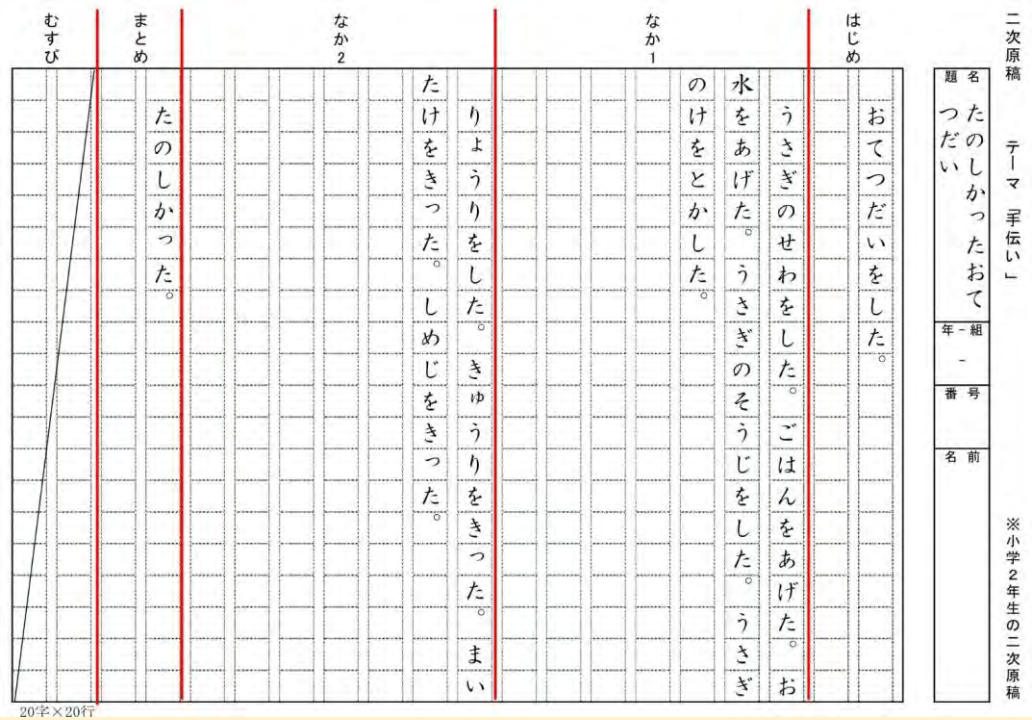
（３）作品例（小学校～中学校～高校：小１）



（東京都台東区立東泉小学校の児童作品）

1. 小学１年生は**口頭作文**を行い、担任が書き取る。
2. 形式を守っている。
3. 「なか」が**1行**で述べてある。
4. 評価はＡ。

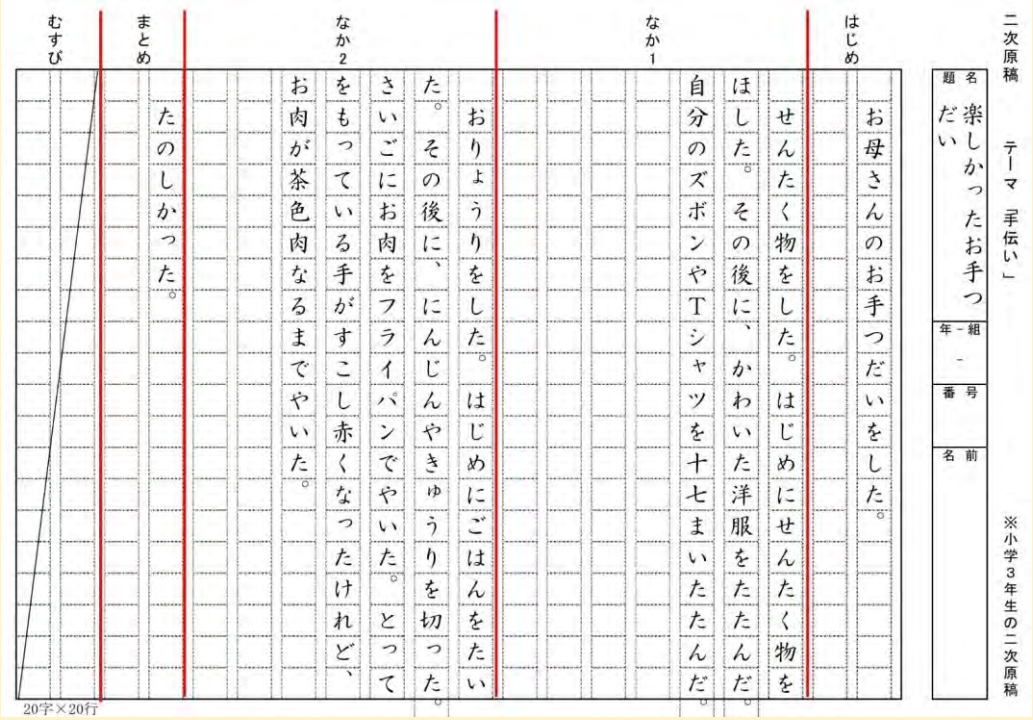
（３）作品例（小学校～中学校～高校：小２）



（東京都台東区立東泉小学校の児童作品）

1. 小学２年生から**小論文**を行った。
2. 形式を守っている。
3. 「なか」が**２行**書けている。
4. 評価はＡ。

（３）作品例（小学校～中学校～高校：小3）



二次原稿　テーマ「手伝い」

題名　楽しかったお手つだい

年－組　－

番号

名前

※小学３年生の二次原稿

はじめ

お母さんのお手つだいをした。

せんたく物をした。はじめにせんたく物をほした。その後に、かわいた洋服をたたんだ。自分のズボンやTシャツを十七まいたたんだ。

なか1

おりょうりをした。はじめにごはんをたいた。その後に、にんじんやきゅうりを切った。さいごにお肉をフライパンでやいた。とってをもっている手がすこし赤くなったけれど、お肉が茶色肉なるまでやいた。

なか2

まとめ

たのしかった。

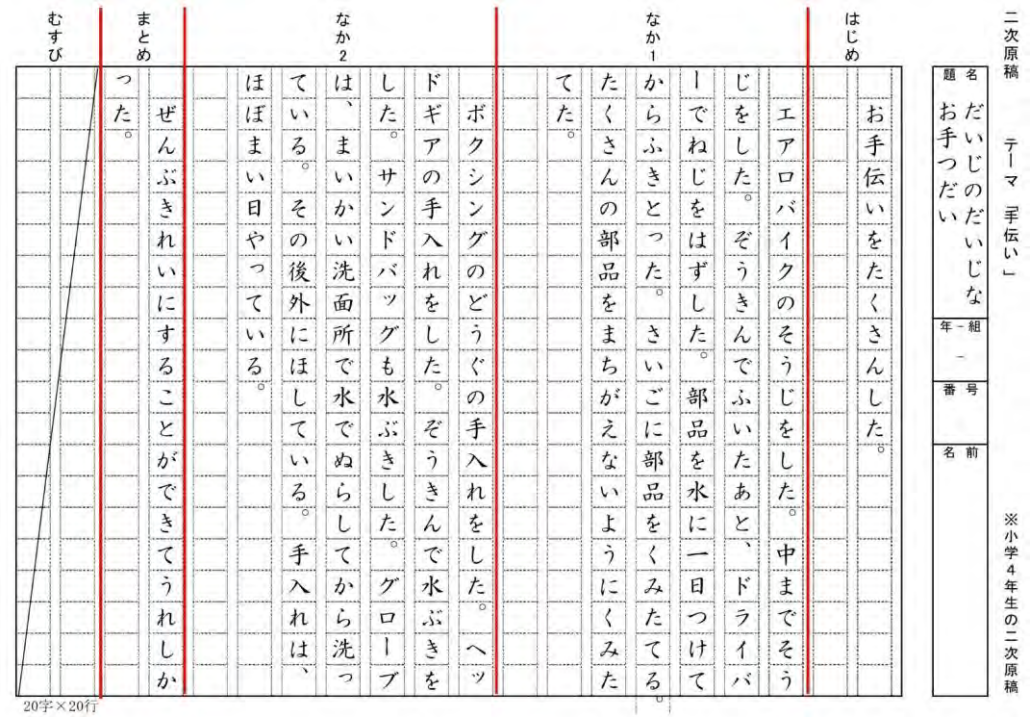
むすび

20字×20行

（東京都台東区立東泉小学校の児童作品）

1. 小学3年生では、**小論文**を行う。
2. 形式を守っている。
3. 「なか」が**3～5行**書けている。
4. 評価はＡ。

（３）作品例（小学校～中学校～高校：小4）



二次原稿　テーマ「手伝い」

題名　だいじのだいじな お手つだい

年－組　－

番号

名前

※小学4年生の二次原稿

はじめ

お手伝いをたくさんした。

なか1

エアロバイクのそうじをした。中までそうじをした。ぞうきんでふいたあと、ドライバーでねじをはずした。部品を水に一日つけてからふきとった。さいごに部品をくみたてる。たくさんの部品をまちがえないようにくみたてた。

なか2

ボクシングのどうぐの手入れをした。ヘッドギアの手入れをした。ぞうきんで水ぶきをした。サンドバッグも水ぶきした。グローブは、まいかい洗面所で水でぬらしてから洗っている。その後外にほしている。手入れは、ほぼまい日やっている。

まとめ

ぜんぶきれいにすることができてうれしかった。

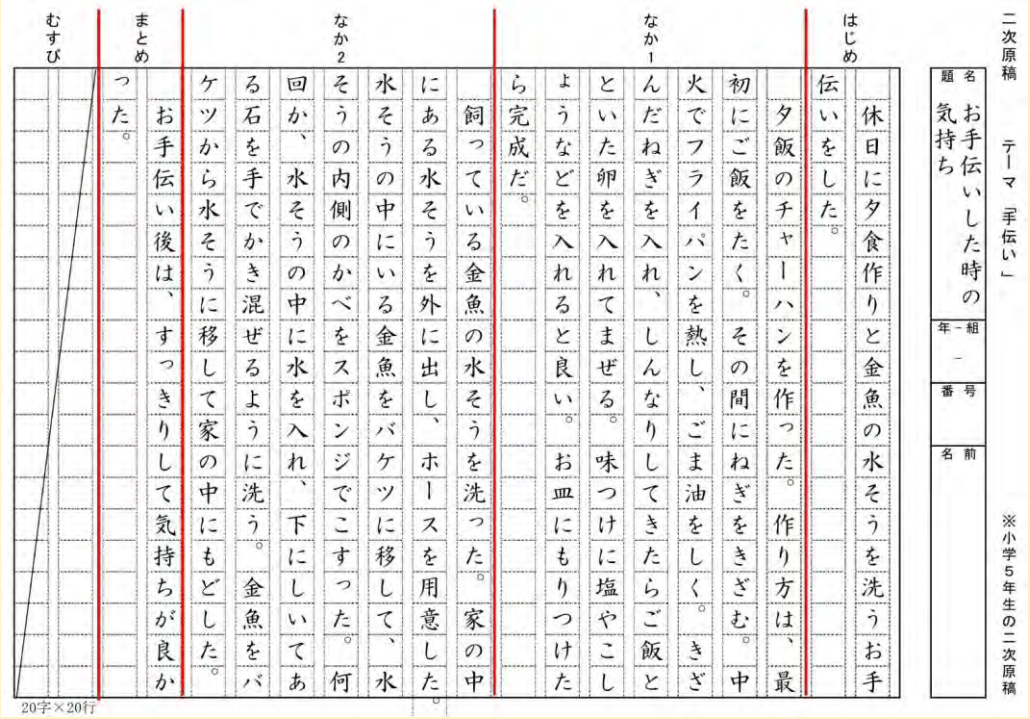
むすび

20字×20行

（東京都台東区立東泉小学校の児童作品）

1. 小学4年生では、**小論文**を行う。
2. 形式を守っている。
3. 「なか」が**5～6行**書けている。
4. 評価はＡ。

（３）作品例（小学校～中学校～高校：小5）



二次原稿　テーマ「手伝い」

題名　お手伝いした時の気持ち

年－組　－　番号　名前

※小学５年生の二次原稿

はじめ

休日に夕食作りと金魚の水そうを洗うお手伝いをした。

なか１

夕飯のチャーハンを作った。作り方は、最初にご飯をたく。その間にねぎをきざむ。中火でフライパンを熱し、ごま油をしく。きざんだねぎを入れ、しんなりしてきたらご飯とといた卵を入れてまぜる。味つけに塩やこしょうなどを入れると良い。お皿にもりつけたら完成だ。

なか２

飼っている金魚の水そうを洗った。家の中にある水そうを外に出し、ホースを用意した。水そうの中にいる金魚をバケツに移して、水そうの内側のかべをスポンジでこすった。何回か、水そうの中に水を入れ、下にしいてある石を手でかき混ぜるように洗う。金魚をバケツから水そうに移して家の中にもどした。

まとめ

お手伝い後は、すっきりして気持ちが良かった。

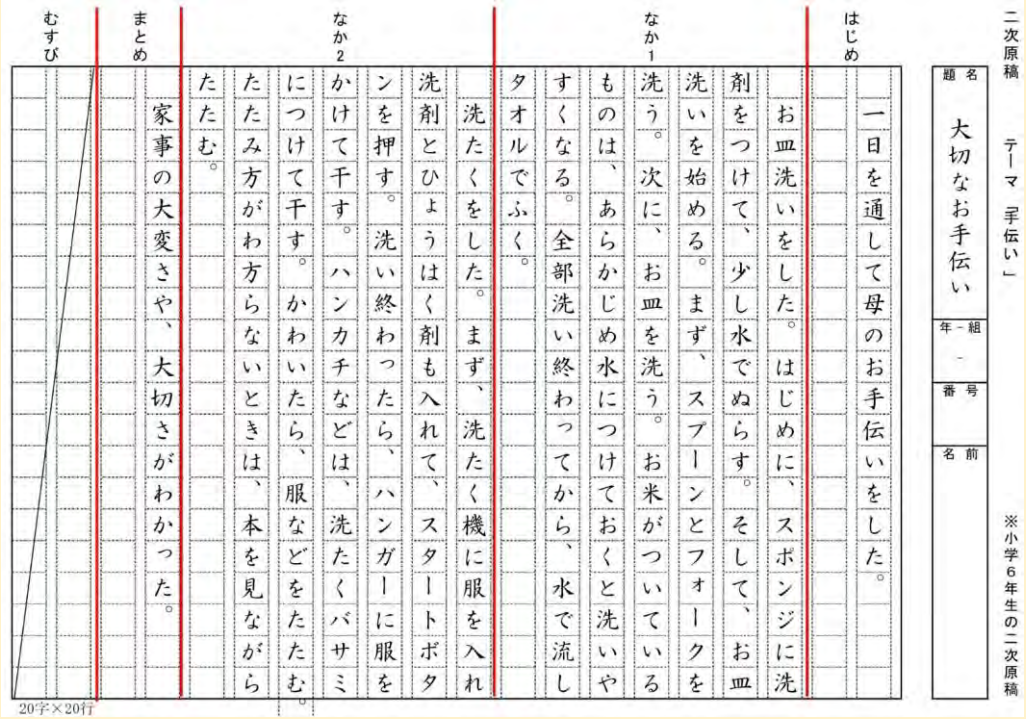
むすび

20字×20行

（東京都台東区立東泉小学校の児童作品）

1. 小学5年生では、**小論文**を行う。
2. 形式を守っている。
3. 「なか」が**6～7行**書けている。
4. 評価はＡ。

（３）作品例（小学校～中学校～高校：小6）



二次原稿　テーマ「手伝い」

題名　大切なお手伝い

年－組　－

番号

名前

※小学6年生の二次原稿

はじめ

一日を通して母のお手伝いをした。

お皿洗いをした。はじめに、スポンジに洗剤をつけて、少し水でぬらす。そして、お皿洗いを始める。まず、スプーンとフォークを洗う。次に、お皿を洗う。お米がついているものは、あらかじめ水につけておくと洗いやすくなる。全部洗い終わってから、水で流しタオルでふく。

なか1

洗たくをした。まず、洗たく機に服を入れ洗剤とひょうはく剤も入れて、スタートボタンを押す。洗い終わったら、ハンガーに服をかけて干す。ハンカチなどは、洗たくバサミにつけて干す。かわいたら、服などをたたむ。たたみ方がわ方らないときは、本を見ながらたたむ。

なか2

まとめ

家事の大変さや、大切さがわかった。

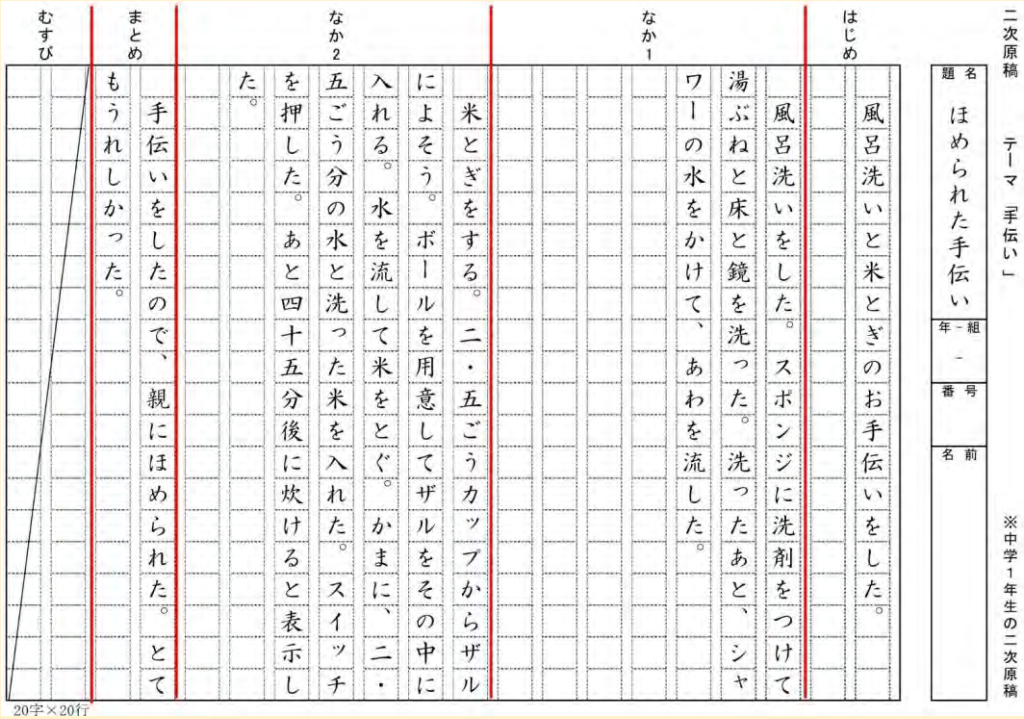
むすび

20字×20行

（東京都台東区立東泉小学校の児童作品）

1. 小学6年生では、**小論文**を行う。
2. 形式を守っている。
3. 「なか」が**6～7行**書けている。
4. 評価はＡ。

（３）作品例（小学校～中学校～高校：中1）



二次原稿　テーマ「手伝い」

題名　ほめられた手伝い

年－組　－

番号

名前

※中学1年生の二次原稿

はじめ

風呂洗いと米とぎのお手伝いをした。

なか1

風呂洗いをした。スポンジに洗剤をつけて湯ぶねと床と鏡を洗った。洗ったあと、シャワーの水をかけて、あわを流した。

なか2

米とぎをする。二・五ごうカップからザルによそう。ボールを用意してザルをその中に入れる。水を流して米をとぐ。かまに、二・五ごう分の水と洗った米を入れた。スイッチを押した。あと四十五分後に炊けると表示した。

まとめ

手伝いをしたので、親にほめられた。とてもうれしかった。

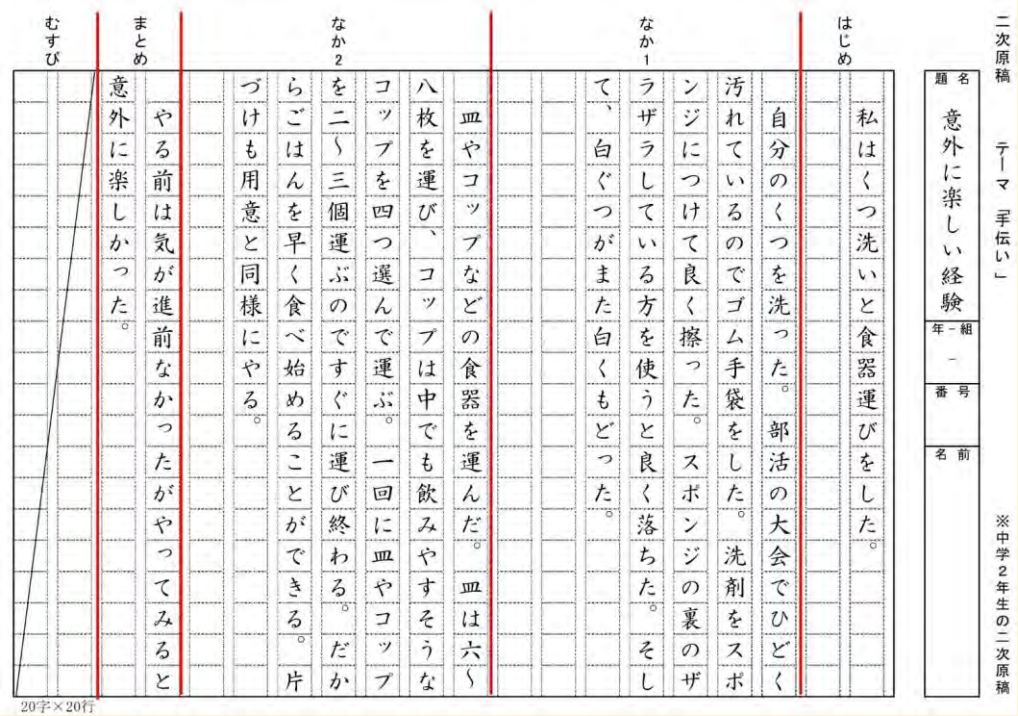
むすび

20字×20行

（本校の生徒作品）

1. 中学1年生で、**初めて小論文**を行った。
2. 形式を守っている。
3. 「なか」が**3～5行**書けている。
4. 評価はＢ。

（３）作品例（小学校～中学校～高校：中2）



二次原稿　テーマ「手伝い」

題名　意外に楽しい経験

年－組　－

番号

名前

※中学2年生の二次原稿

はじめ

私はくつ洗いと食器運びをした。

なか1

自分のくつを洗った。部活の大会でひどく汚れているのでゴム手袋をした。洗剤をスポンジにつけて良く擦った。スポンジの裏のザラザラしている方を使うと良く落ちた。そして、白ぐつがまた白くもどった。

なか2

皿やコップなどの食器を運んだ。皿は六～八枚を運び、コップは中でも飲みやすそうなコップを四つ選んで運ぶ。一回に皿やコップを二～三個運ぶのですぐに運び終わる。だからごはんを早く食べ始めることができる。片づけも用意と同様にやる。

まとめ

やる前は気が進前なかったがやってみると意外に楽しかった。

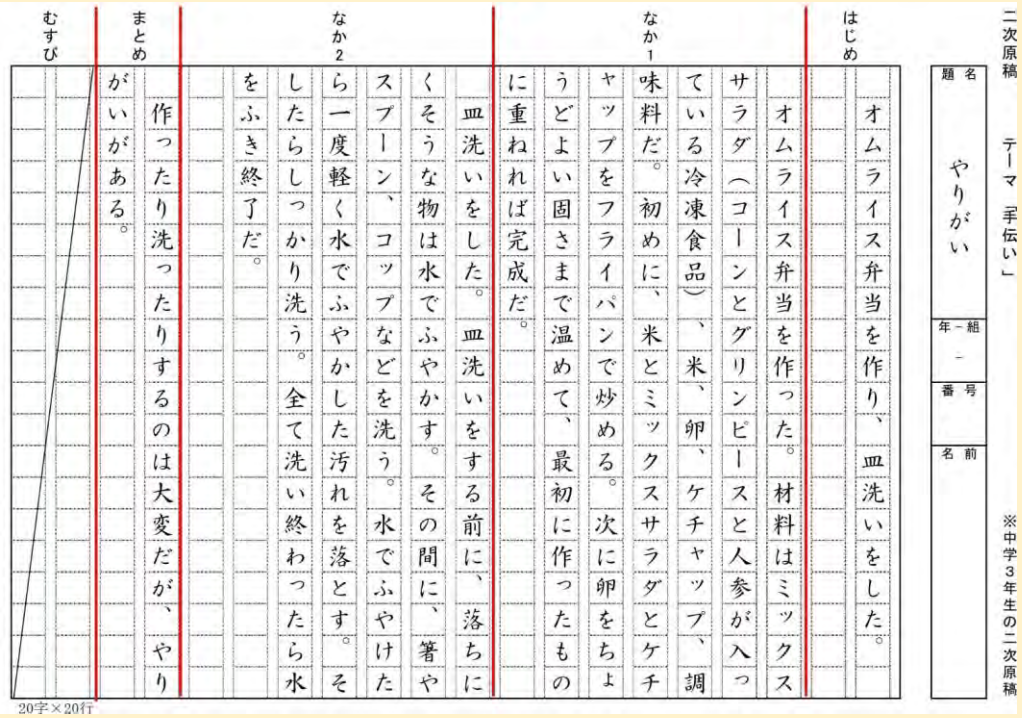
むすび

20字×20行

（本校の生徒作品）

1. 中学2年生で、**小論文**を行った。
2. 形式を守っている。
3. 「なか」が**4～5行**書けている。
4. 評価はＢ。

（３）作品例（小学校～中学校～高校：中3）



二次原稿　テーマ「手伝い」

題名　やりがい

年－組　－

番号

名前

※中学３年生の二次原稿

はじめ

オムライス弁当を作り、皿洗いをした。

なか1

オムライス弁当を作った。材料はミックスサラダ（コーンとグリンピースと人参が入っている冷凍食品）、米、卵、ケチャップ、調味料だ。初めに、米とミックスサラダとケチャップをフライパンで炒める。次に卵をちょうどよい固さまで温めて、最初に作ったものに重ねれば完成だ。

なか2

皿洗いをした。皿洗いをする前に、落ちにくそうな物は水でふやかす。その間に、箸やスプーン、コップなどを洗う。水でふやけたら一度軽く水でふやかした汚れを落とす。そしたらしっかり洗う。全て洗い終わったら水をふき終了だ。

まとめ

作ったり洗ったりするのは大変だが、やりがいがある。

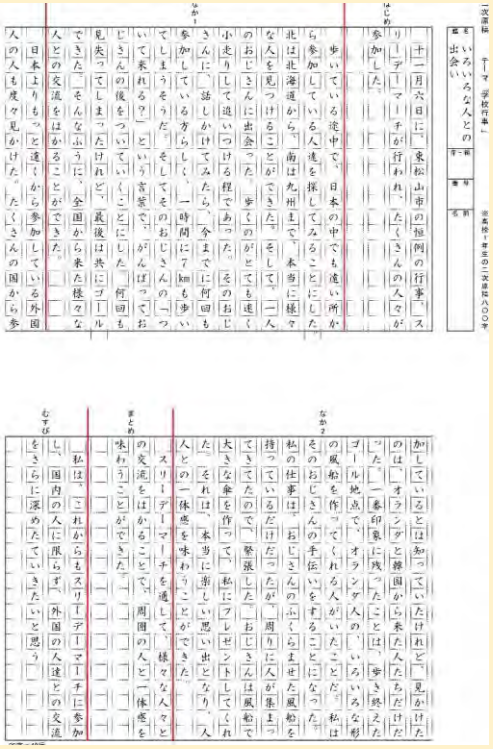
むすび

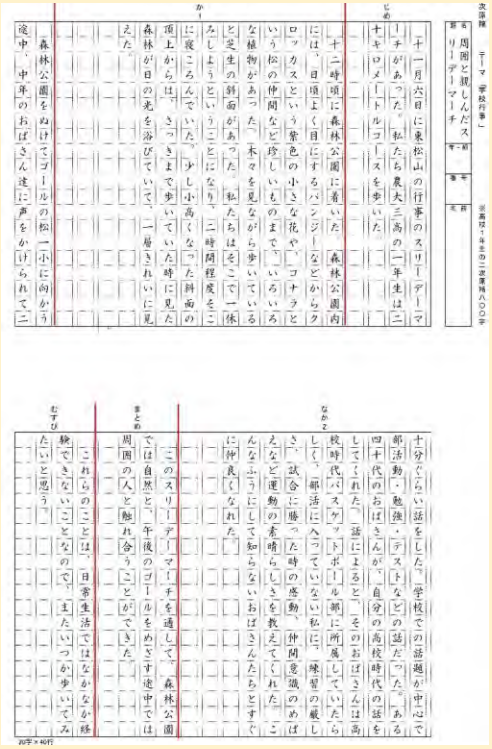
20字×20行

（本校の生徒作品）

1. 中学3年生で、**小論文**を行った。
2. 形式を守っている。
3. 「なか」が**6～7行**書けている。
4. 評価はＡ。

（３）作品例（小学校～中学校～高校：高1）

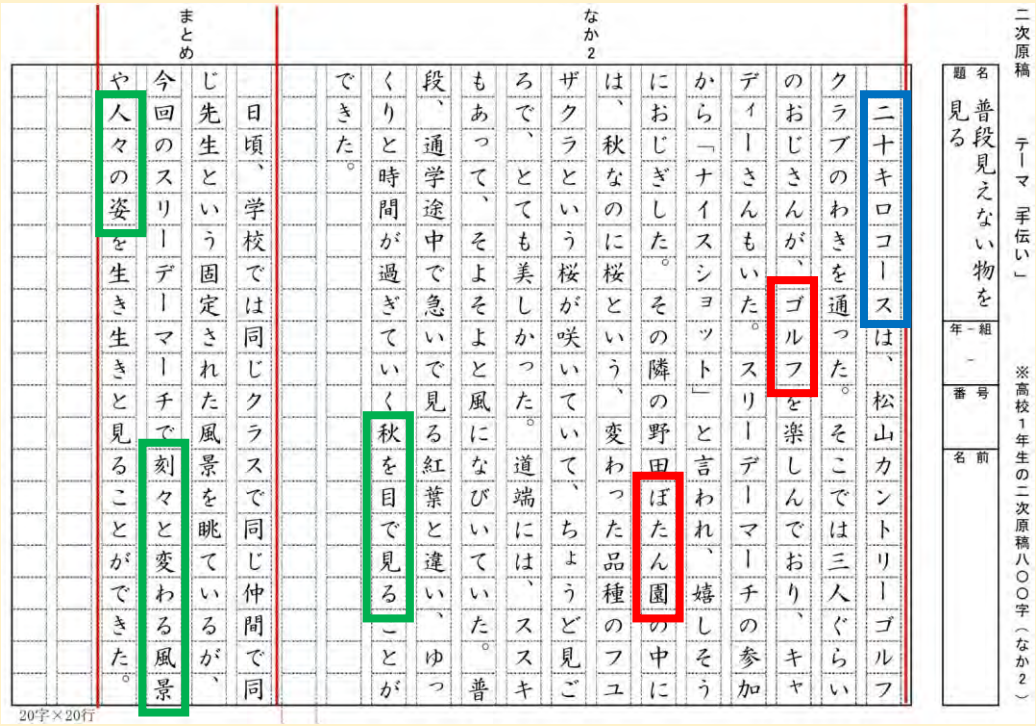




（本校の生徒作品）

1. 高校1年生で2～3回目の小論文を行った。
2. 800字の形式で書いている。
3. 「なか」が10～14行書けている。
4. 評価はともにＡ。

（３）作品例（800字小論文の「なか」の構造）



二次原稿　テーマ「手伝い」　※高校1年生の二次原稿八〇〇字（なか2）

題名　普段見えない物を見る　年－組　－　番号　名前

なか2

二十キロコースは、松山カントリーゴルフクラブのわきを通った。そこでは三人ぐらいのおじさんが、ゴルフを楽しんでおり、キャディーさんもいた。スリーデーマーチの参加から「ナイスショット」と言われ、嬉しそうにおじぎした。その隣の野田ぼたん園の中には、秋なのに桜という、変わった品種のフユザクラという桜が咲いていて、ちょうど見ごろで、とても美しかった。道端には、ススキもあって、そよそよと風になびいていた。普段、通学途中で急いで見る紅葉と違い、ゆっくりと時間が過ぎていく秋を目で見ることができた。

まとめ

日頃、学校では同じクラスで同じ仲間で同じ先生という固定された風景を眺ているが、今回のスリーデーマーチで刻々と変わる風景や人々の姿を生き生きと見ることができた。

20字×20行

（本校の生徒作品）

1. 800字の形式で書いている。
2. 「なか」が**12行**で書けている。
3. 「なか」の**内部が「はじめ・なか・まとめ」の構造**になっている。

（３）作品例（800字小論文の「なか」の構造）

はじめ−なか1−なか2−まとめ

はじめ−(はじめ・なか・まとめ)−(はじめ・なか・まとめ)−まとめ

３　各段階における「書くこと」の学習
（小学校～大学・社会）

（１）小学校から大学・社会へ続く学び

文章構成･段落･キーワードを共通にして反復

（２）いつごろ何を身につけるのか？

小学校[文章の型]→中学校[事実の文章]→
高校・大学（社会人）[根拠の明確な意見文]

小学校から大学までを見通した「文章力」育成指導

―「文章構成・段落・キーワード」―

東京農業大学第三高等学校附属中学校　西山明人